

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 小石 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

○運動やスポーツをすることに対して、95%以上の児童が肯定的に捉えている。（「運動が好き」「運動は大切」）しかし、児童の運動時間は、全国や北九州市と比較すると、本校は低い割合であった。
 ○睡眠時間は7時間以上9時間未満の割合が高く、やや低い傾向にある。
 ○平日のテレビやゲーム機、スマホの視聴時間は、児童の半数以上が4時間以上と答えており、視聴時間が多い傾向にある。情報モラル等の学習を引き続き指導していく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○体育科の学習では、年度当初に研修を行い、一時間の十分な運動量の確保や体力の向上につながる授業づくりに努めていく。学校行事や委員会での取組も機会を確保していく。
 ○情報モラル教育(SNSの使い方やマナー、危険性など)に関しては、毎年外部講師に依頼しているが、学習の機会を増やしていく必要がある。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○スポーツ委員会を中心に、学期に一回以上、「スポーツ集会」を実施する。縦割り班ごとに参加できるように計画し、長縄やランニングの取組、障害物競走等の様々な種類の活動に取り組み、他の学年の児童と一緒に楽しさを感じてもらえるよう働きかけていく。